

花と実のかんさつ

(東京書籍「新しい理科 3」p38~41)

植物の花や実を観察して記録し、花から実への変化のようすをとらえる。

花,実をかんさつしょう

	つぼみ	花	実
ホウセンカ			
ヒヤクニチソウ			

<指導の

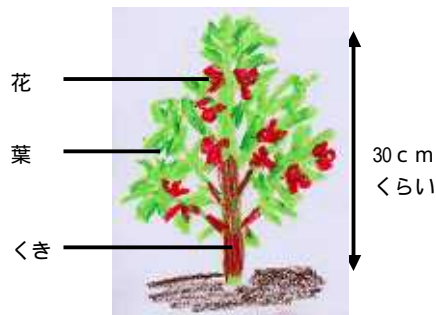
ポイント>

つぼみ 花 実
の変化を継続し
て観察させるた
めに、つぼみの
時期に1つの花
茎を選び、それ
に毛糸などでし
るしを付けてお
くとよい。
毛糸を巻き付け
る際は、花茎を
いためないよう
に注意する。

ヒヤクニチソウのそだちかた

ホウセンカのそだちかた

9月15日 はれ (岩手 太郎)



気づいたこと

・花がたくさんさいた。草たけもだいぶ大き
くなった。くきもマジックペンくらいにふ
とくなった。

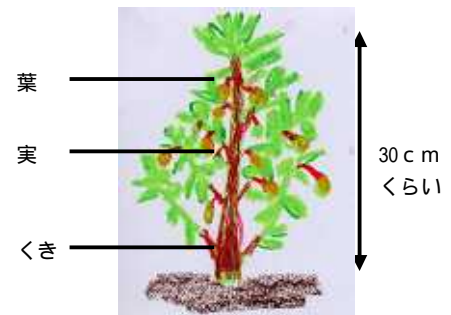
思ったこと

・花がさいてうれしいです。アサガオみたい
に花がさいたあとは実ができるのかな。

ヒヤクニチソウのそだちかた

ホウセンカのそだちかた

9月25日 はれ (岩手 太郎)



気づいたこと

・花がさいたあとに、たくさんの実ができた。
黄みどり色の実と黄色っぽい色をした実が
あった。

思ったこと

・ホウセンカもヒヤクニチソウも、つぼみが
できたあとに花がさいて、そのあとに実が
できることがわかった。

<花だんのあとしまつ>

この時期の花だんは、酸性になっている
場合が多いので、かれた植物を抜き取っ
た後は、消石灰を散布し、中和しておく。

ホウセンカのたねをとる時は、たねが
飛び散るので、ビニルシートを敷くと
いいです。採集したたねは、日かげで
乾燥させ、来年の3年生にプレゼント
しましょう。

